

信楽焼の植木鉢

近年世間では盆栽がブームになっています。盆栽に手をかけることで充実感を得ることができ、精神的な癒しにつながるそうです。

植木鉢の始まりは明らかではありませんが、零落した武士が旅の僧をもてなすために、秘蔵の鉢植えを薪にする能「鉢の木」や、中国の寧波から博多に向かった貿易船である新安沈没船から、中国製の植木鉢が発見されていることから、鎌倉時代には鉢植えを鑑賞することが普及していたようです。

江戸時代になると、園芸が文化の域にまで発展し、多くの植木鉢が消費されるようになっています。小物生産が活発になっていた信楽でも、碗皿類や神仏具などに加えて植木鉢がつくられるようになりました。

その後、明治時代から大正時代にかけて、信楽ではやはり江戸時代から普及した火鉢に加えて、季節に左右されない植木鉢の生産に力が注がれるようになります。戦後もしばらくは火鉢景気です。信楽は活況を呈しましたが、昭和20年代後半から石油ストーブが普及すると、折りからの観葉植物の普及もあり、火鉢に代わって植木鉢の売れ行きが伸び、信楽



▲窯出し



▲乾燥

絵はがき「しがらき」(信楽町観光協会発行)より

焼の主力製品のひとつとなつていきました。多種多様な植木鉢の中からセレクトできるのは信楽焼の強みです。現在開催中の信楽まちなか芸術祭でも多数の植木鉢が会場で展示されています。ぜひ、会場にお越しいただき、お気に入りの植木鉢を見つけてみませんか。

歴史文化財課
086-8026 / 086-8216

もっとゆたかに ~自尊感情の育み~

人権の学びの中で、とりわけ大切にしたいものとして「自尊感情の育ち」があります。

心理学者の近藤卓さんは、「あるがままの自分自身を受け入れ、自分をかけがえのない存在として丸ごとそのまま認める感情である『基本的自尊感情』こそが、自尊感情の基礎を支える大切な感情である。」とされています。

詩「わたしはここにいます」のように、人は時として落ち込んだり悩んだりすることがあります。

でも、私はここにいて生きています。すべての自分を受け入れることはとても大切です。

子どもだけでなく、大人も含めて基本的自尊感情を高めることは、自他の大切さを認めることができ、思いやりの心を育てることにつながります。

担当
人権推進課 人権教育室 ☎70-0022 / 70-3016



わたしはここにいます

うまくやれないこと、もついいやつて思うこと
たたかうなんてムリ・・・と感じること
ときには辛すぎて おちこんでしまう
でもだからって「自分以下」を
さがして安心しようなんて
そういう生き方はイヤだ
生まれてきたよ ここにいるよ
生きてきたよ これからも生きていくよ
そういう自分の力を 信じたい

2016甲賀市人権啓発教材集より

甲賀消防の おしらせ



『外出先での地震の対処法について』

地震は、いつ、どこで起こるか分からないため、外出先で被災することも考えられます。そんなとき、慌てず適切に行動し、身の安全を確保するための対処法をいくつかご紹介します。

～住宅地にいるとき～

路地にあるブロック塀や石塀、また、自動販売機などは、強い揺れで倒れる危険がありますので、これらのそばから離れましょう。

～オフィスや繁華街にいるとき～

ビルの外壁や屋外看板などが剥がれ落ちることもありますので、靴などで頭を保護し、できるだけ建物から離れましょう。

～海岸や川べりにいるとき～

津波から身を守るため、避難の指示や勧告を待つことなく、直ちに高台や避難場所に避難しましょう。

～山や丘陵地にいるとき～

山崩れ、がけ崩れが起こりやすいので、早めに避難しましょう。

～自動車を運転しているとき～

慌てて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とし、ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止しましょう。

平成28年甲賀消防管内における各種災害の発生件数 (8月末現在)

	火災	救急	救助	その他
甲賀市	43	2,306	47	153
前年比	+3	▲75	+3	+42

甲賀広域行政組合消防本部 予防課
03799300 / 06677940
組合ホームページ
<http://www.koka-koiki.jp>



「広報あいこうか」が
ホームページでもご覧いただけます

甲賀市ホームページ
甲賀市facebook ページ

<http://www.city.koka.lg.jp/>
<http://www.facebook.com/city.koka>

